

> 2018年3月期
 第1四半期決算説明資料〔IFRS〕
 (2017年4月 – 2017年6月)

証券コード：5938

株式会社 LIXILグループ
 2017年8月7日



Copyright © LIXIL Group Corporation. All rights reserved.

2016年3月期よりIFRSに移行しています
 各段階利益の名称の違いは以下の通りです

日本基準	IFRS (当社財務報告)
売上高	売上収益
売上原価	売上原価
売上総利益	売上総利益
販管費	販管費
営業利益	事業利益 (CE)
営業外収益・費用	その他収益・費用
経常利益	営業利益
特別損益	金融収益・費用
	持分法投資損益
税引前利益	税引前利益
当期利益	当期利益
非支配持分に帰属する当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益
親会社の株主に帰属する当期利益	非支配持分に帰属する当期利益

IFRS基準の「事業利益 (CE)」は日本基準の「営業利益」に相当

2018年3月期 第1四半期決算〔IFRS〕の概要

目次

1. 2018年3月期 第1四半期 決算〔IFRS〕の概要
2. 2018年3月期 第1四半期 事業環境及びセグメント別決算の概要
3. ご参考



LIXIL Water Technology



LIXIL Housing Technology



LIXIL Building Technology



LIXIL Kitchen Technology



流通・小売り



住宅・サービス

LIXILグループ 第1四半期業績ハイライト

堅調な利益率の改善により第1四半期から力強いスタート

売上収益は4,319億円、前年同期比+1.2%

- 事業売却および非連結化影響を超える実質成長により増収
- LWT事業は全般的に堅調。特に国内では新築・リフォーム売上共に好調に推移
- LHTは新築売上の回復により実質伸長

事業利益は事業売却・非連結化の影響をカバーし、187億円、前年同期比+27%

- LWT事業の国内売上が好調であったことに加え、広告宣伝等積極的なマーケティング活動による売上増、シナジー効果によるコスト削減が後押し
- 国内外LBT事業において収益性改善
- 事業利益率は3.5%（17/3期1Q）から4.3%（18/3期1Q）に改善

親会社に帰属する当期利益は前年同期の外貨建て借入金円転等により認識された為替差益の剥落（-104億円）により102億円、前年同期比-14億円

- 借入金返済による支払利息の減少（+15億円）、税金費用の減少（+27億円）
- LIXILビバ上場による親会社に帰属する利益額の減少（-10億円）

第1四半期 連結業績結果

▶ P/L主要項目は概ね良好に推移

億円	17/3期	18/3期	前年比		
	1Q実績	1Q実績	増減		%
			うち為替影響		
売上収益	4,266	4,319	17	52	1.2%
売上総利益	1,322	1,386	7	64	4.8%
売上総利益率 (%)	31.0%	32.1%	-	-	+1.1
事業利益 ⁽¹⁾	147	187	4	40	27.1%
事業利益率 (%)	3.5%	4.3%	-	-	+0.9
当期利益 ⁽²⁾	116	102	-	-14	-12.1%
EPS(円)	41	36	-	-5	-12.4%
EBITDA ⁽³⁾	297	352	-	55	18.6%
EBITDA 比率 (%)	7.0%	8.2%	-	-	+1.2

為替レート (実績)

(円)

	17/3期 1Q 実績	18/3期 1Q 実績
米ドル	109.07	111.61
ユーロ	122.47	123.14
タイバーツ	3.09	3.25
中国人民元	16.64	16.30

期中平均相場

■ 売上総利益率 +1.1pt

31.0%→32.1%

- ・ グループ内のシナジー効果により継続して改善
- ・ 中高級価格帯商品の製品開発と拡販に注力
- ・ 生産効率の改善

■ EBITDAは事業利益増加により前期比18.6%改善

■ 当期利益は一過性要因に基づき前期1Qに認識された為替差益の剥落により減少

LIXIL

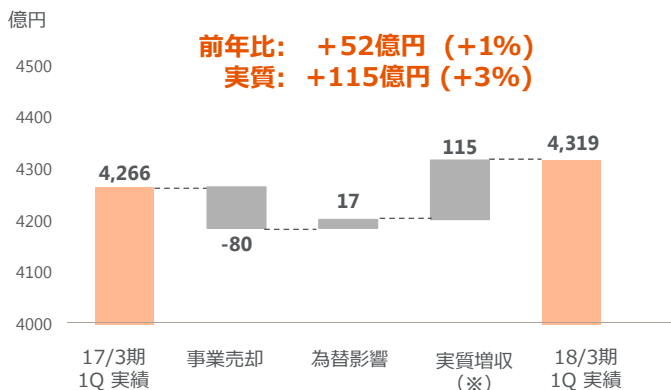
(1) 日本基準の「営業利益」に相当
(2) 親会社の所有者に帰属する当期利益
(3) EBITDA = 事業利益 + 減価償却費

5

第1四半期 事業業績結果

▶ 事業利益は堅調に改善し、前年同期比27%増

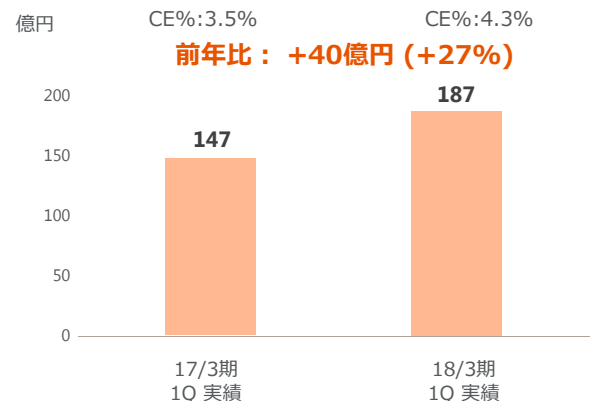
売上収益



売上収益 (※) の主な増加要因:

- LWT事業は国内・海外共に積極的なマーケティング投資および新商品効果により成長
- LHT、LBT、LKTも増収に貢献
- LBT事業では国内・海外共に増収

事業利益(CE)



国内事業における粗利率およびLBT事業における収益性の大幅改善で増益幅拡大

- LWT、LKT、D&Rにおいて増益
- 工事物件内容良化によりLBT海外事業の赤字幅縮小
- 日本+21 (+14%)、海外+10 (+12%)

LIXIL

6

資産効率の強化

計画的な有利子負債の返済により、財務健全性確保のために引き続き注力

億円	(A)	(B)	(B)-(A)	
	17/3 期末	17/6 期末	増減	%
現金及び現金同等物	1,216	1,204	-12	-1.0%
有利子負債	7,599	7,282	-317	-4.2%
Net有利子負債	6,383	6,079	-305	-4.8%
資産合計	20,422	20,602	180	0.9%
自己資本比率 (%) ⁽¹⁾	26.8	28.1	+1.3P	-
Net Debt/Equity レシオ (%)	117	105	-11P	-

Net有利子負債305億円の減少

- 主として2017年4月における491億円の期限前返済による減少

資産合計180億円の増加

- 主として為替変動による増加（ユーロ：120円（2017年3月末）→128円（2017年6月末））

自己資本比率1.3ポイント、Net Debt/Equity レシオ11ポイント（117%→105%）改善

- 上記有利子負債491億円の返済による改善

運転資本と設備投資

キャッシュフローは有利子負債の返済と子会社株式取得により減少

億円	17/3期 Q1	18/3期 Q1	増減額
税引前利益	202	172	-31
減価償却費及び償却費	150	165	15
法人所得税等支払	-112	-114	-1
運転資本	3	25	22
その他	39	16	-23
営業キャッシュフロー	282	264	-17
投資キャッシュフロー	-153	-228	-75
(うち有形・無形資産取得支出)	-160	-140	20
フリーキャッシュフロー	129	36	-93
財務キャッシュフロー	65	-64	-129
	.	.	.
現金及び現金同等物の期末残高	1,440	1,204	-236

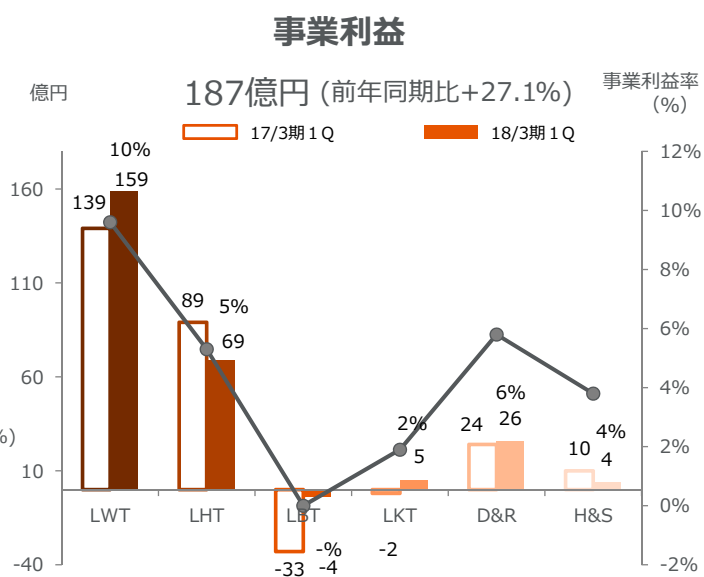
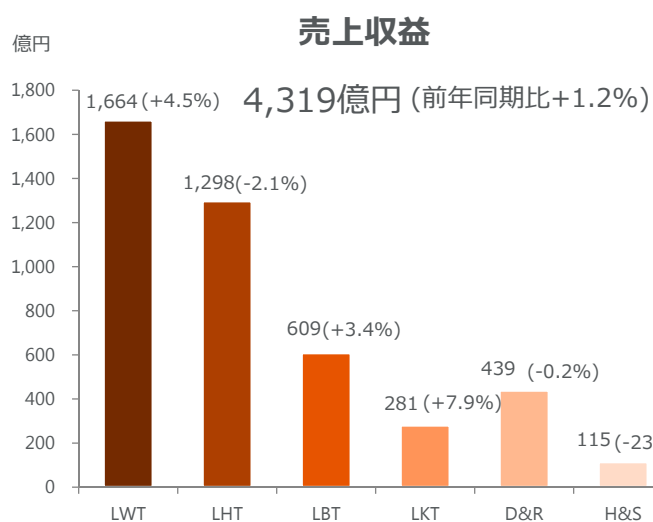
- フリーキャッシュフローの減少：主として子会社株式の追加取得による
- 財務キャッシュ・アウトフローの増加（純額）：主として借入金の返済およびLIXILビバ上場による入金（LIXIL：324億円、ビバ：91億円）

2018年3月期 第1四半期 事業環境及びセグメント別決算の概要



LIXILグループセグメント別業績

事業利益・事業利益率は前年同期比27.1%の改善



※ 折れ線グラフは、18/3期1Qの事業利益率を示しています。

事業環境のアップデート

▶ 主要地域における好調な建設・不動産市場環境が事業成長を後押し

日本

- 1Qの新設住宅着工は前年同期比1.1%増
- 日本政府が牽引する様々な住生活環境関連施策により国内の事業環境はポジティブ
- 当四半期における原材料価格は安定して推移

アジア太平洋地域

- 中国では将来の需要の牽引役となる中間所得層の増加により、LWT商品群に対するブランド認知度が向上
- タイでは需要が弱い状況が続く一方で、ベトナムでは徐々に回復の傾向
- インドでは高額紙幣廃止影響による需要減からの回復が遅く、税制改正（GST）の影響については注視が必要

欧州

- 歴史的な低金利政策が新築やリフォームへの投資を促進
- 省エネや節水技術に対する需要増によりLWT海外売上成長を後押し

北米

- 建設・不動産市況の好調を背景にビル事業の受注、水回り事業の売上伸長を後押し

LIXIL Water Technology

▶ 第1四半期の売上収益の伸長は日本事業が牽引、利益率は引き続き改善

4月-6月 億円		18/3期 1Q	YoY	実質	18/3期 通期予想
地域別売上 (1)	アメリカ	344		+1%	+6%
	欧州、中東、 アフリカ地域	352		+2%	+5%
	アジア太平洋地域	208		+4%	+15%
	日本	759		+6%	+0%
	連結調整	1			
	LIXIL Water Technology	1,664	+5%	+5%	7,030 +6%
事業利益	LIXIL Water Technology	159	+14%		670 +3%
	事業利益率	10%	+0.8pt		10%

- 売上収益は前年同期比+72億円 (+5%)
- CM等積極的なマーケティング活動とアクアセラミック搭載トイレ・フチレストイレなどの清掃性に優れた商品が国内売上の成長に引き続き寄与、衛生陶器の売上は前年同期比+11.4%成長
- 中国（前年同期比+12%）では5月31日から6月3日に上海で開催の「Kitchen & Bath China」⁽²⁾で紹介したGROHE、アメリカンスタンダードの新技術を搭載した商品が市場で広く受け入れられ、今期好調なスタート
- 事業利益は中高級価格帯商品売上の伸長・シナジー効果によるコスト改善により増益

LIXIL Water Technology

ユーザー目線に立って開発された技術・デザインを搭載した商品が利益率改善に貢献

日本

- CM他、積極的なマーケティング活動を展開
 - リクシルPATTOリフォームを含む新CMがブランド認知度の向上を促進
- 清掃性に優れた技術・製品デザインがマーケットから好評価

中国

- 中国における好調な業績の推移とブランド認知度を向上させた主な取り組み
 - アジア最大規模の水回り品の展示会「The 22nd Kitchen and Bath China 2017 (KBC)」への参加及びアジア最大のGROHE SPAショールームを上海にオープン（5月）
- 革新的な技術と効果的な新商品投入によりSmart ControlやSensia Arena（GROHE）、Milano CollectionやEasySET（アメリカンスタンダード）の力強い成長を牽引
- アメリカンスタンダードは伝統のあるブランドとしての認知度を回復し、中国における衛生陶器ブランドとしての認知度がNo.1に⁽¹⁾



LIXIL (1) 当社調べ

13

LIXIL Housing Technology

将来に向けた成長のための先行投資の影響により利益率減少

4月-6月 億円		18/3期 1Q	YoY	18/3期 通期予想	
地域別売上	日本	1,258	-3% 実質:+1% ⁽²⁾	0%	
	海外	39	+60%	+7% ⁽¹⁾	
	LIXIL Housing Technology	1,298	-2% 実質:+2% ⁽²⁾	5,430	0%
事業利益	LIXIL Housing Technology	69	-22% 実質:-21% ⁽²⁾	415	+6%
	事業利益率	5%	-1.4pt	8%	

- 売上収益は前年度のハイビック売却影響（-49億円）により前年同期比-28億円（-2%）、実質増収
- 簡単施工・施工時間短縮に重点を置いたリフォーム向け新商品を開発
- リクシルPATTOリフォーム：6商品追加
- ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）普及に向けた新しい取り組みについて東京電力エナジーパートナー社と協議開始
- 事業利益は販管費先行投入やハイビック事業売却影響により前年同期比-20億円
 - グループ全体の戦略コスト配賦方法変更により販管費が増加。LWT・LHT事業利益の当期押し下げ要因に

LIXIL (1) 18/3期通期 海外事業 売上収益予想を修正
(2) 事業売却影響を除く

14

LIXIL Building Technology

国内外事業共に売上成長を牽引

4月-6月 億円		18/3期 1Q	YoY	18/3期 通期予想	
地域別売上	日本	218	+9%	-1%	
	海外	391	+0.5%	+10%	
	LIXIL Building Technology	609	+3%	2,790	+6%
事業利益	LIXIL Building Technology	-4	-	65	+69%
	事業利益率	赤字縮小		2%	

- LBT事業では国内外で増収。プロジェクト物件完工により日本事業は前年同期比+9%の増収
- 日本では、季節要因により事業利益は赤字、但对前年比では大幅な改善
- 海外では、継続的な選別受注の徹底により収益性改善

LIXIL Kitchen Technology

国内・海外における力強い売上の伸長が利益率改善に貢献

4月-6月 億円		18/3期 1Q	YoY	18/3期 通期予想	
地域別売上	日本	258	+8%	0%	
	海外	23	+8%	+9%	
	LIXIL Kitchen Technology	281	+8%	1,150	+0%
事業利益	LIXIL Kitchen Technology	5	-	50	+16%
	事業利益率	2%	黒字化	4%	

- リシェル、アレスタなどの中高級価格帯製品主力シリーズの売上増加
- 賃貸アパート需要増の継続がコンパクトキッチンの売上を後押し
- 日本におけるコスト改善努力が事業利益黒字化に貢献
- 利益率改善により事業利益は黒字転換

流通・小売り事業、住宅・サービス事業他

仕入改善・経費削減により事業利益率は5%改善

4月-6月 億円		18/3期 1Q	YoY	18/3期 通期予想	
D & R	売上 ⁽¹⁾	439	-0.2%	1,830	+6%
	事業利益 ⁽¹⁾	26	+5%	90	+23%
	事業利益率 ⁽¹⁾	6%	+0.3pt	5%	

- 売上は、前年同期に対して概ね同水準
- 仕入改善、プライベートブランド強化と既存店の経費削減により、事業利益率0.3ポイント上昇

子会社非連結化影響あるも既存事業は依然堅調

4月-6月 億円		18/3期 1Q	YoY	18/3期 通期予想	
H & S	売上	115	-24% (実質:-4% ⁽²⁾)	570	-11% (実質:+9% ⁽²⁾)
	事業利益	4	-57%	35	-21%
	事業利益率	4%	-2.9pt	6%	

- JIO⁽³⁾の非連結子会社化、前年同期に進行中であった建売物件プロジェクト完了による減収減益

LIXIL

(1) IFRSベース
(2) 事業売却影響を除く
(3) ㈱日本住宅保証検査機構 (JIO)

17

グループ全体での優先課題と進捗 - 2018年3月期 第1四半期

計画通り進捗中、新中期経営計画は第2四半期 決算発表時にご報告を予定

グループ全体

- ・ 組織体系の簡素化による経営効率改善の継続
- ・ 従業員の起業家精神醸成のための施策の実施 (例 ACE@LIXIL⁽¹⁾)
- ・ 世界の衛生課題に対する取り組みの強化
- ・ 新中期経営計画の発表 (11月を予定)



進捗

11月6日にご報告

日本

- ・ リフォーム市場における需要の創造と対応
- ・ マーケティング活動への積極投資の継続
- ・ エンドユーザー目線に立った商品ラインアップの見直しおよび最適化
- ・ 働き方改革の推進



P. 12-16

海外

- ・ 差別化商品の開発 (スマート製品など)
- ・ 商品開発プラットフォームの推進
- ・ 技術者・専門職のグローバル交流の推進
- ・ ガバナンスのさらなる強化



P. 12-13

LIXIL

(1) Activating a Culture of Entrepreneurship

18

ご参考

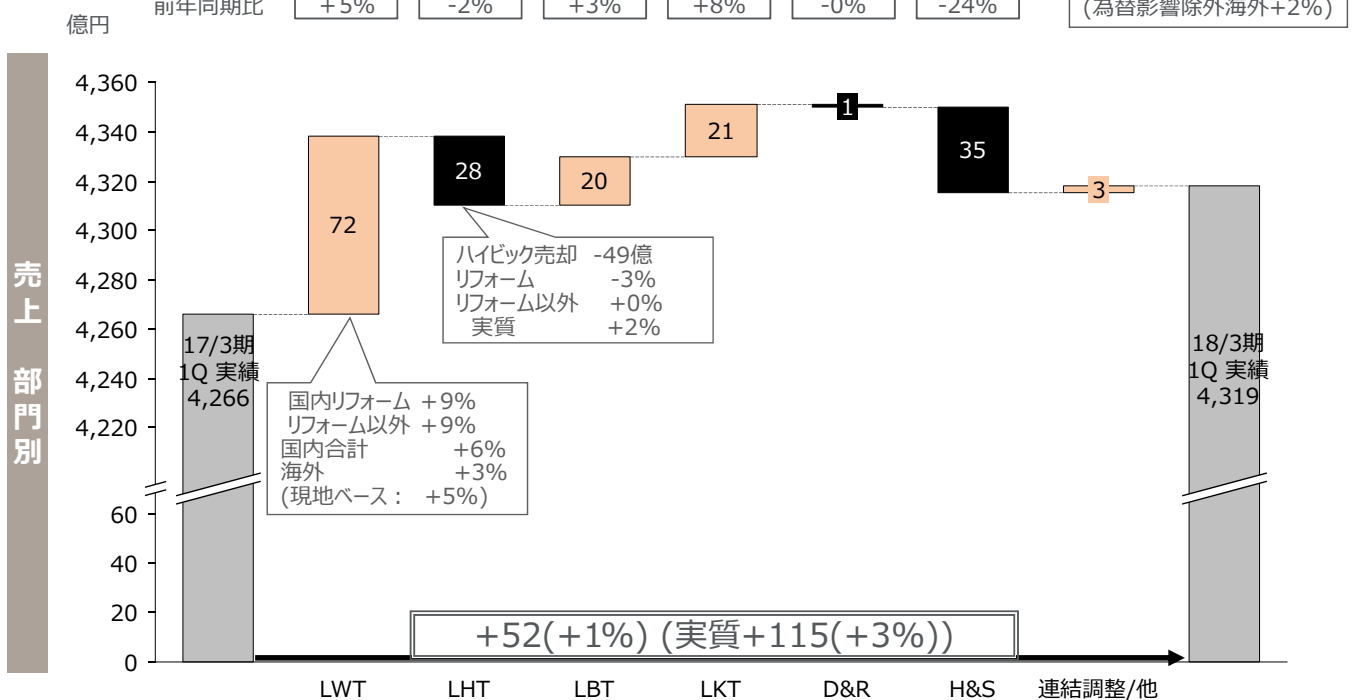


第1四半期 売上の増減 (前年同期差)

前年同期比

+1%

実質国内 +3%
実質海外 +4%
(為替影響除外海外+2%)

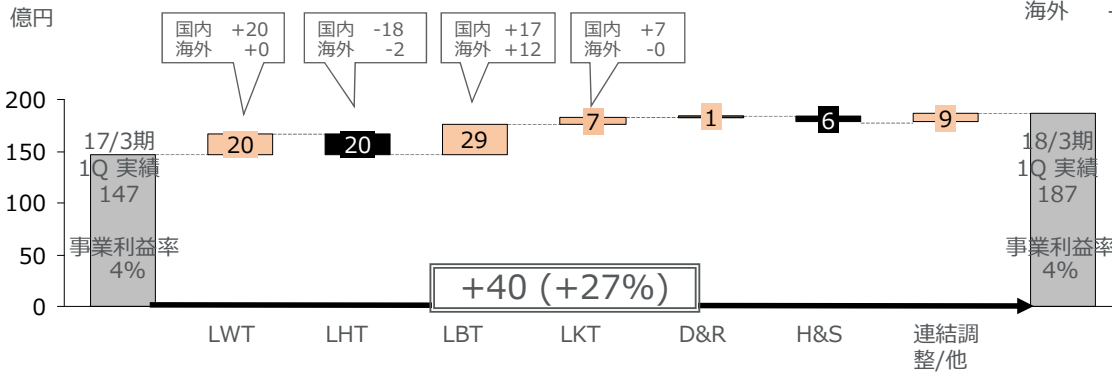


第1四半期 事業利益の増減 (前年同期差)

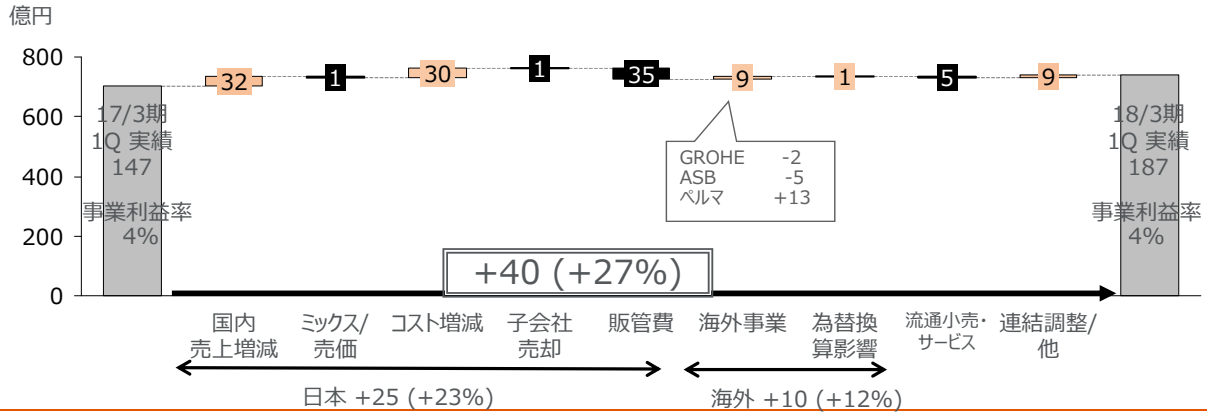
前年同期比 **+27%**

国内 +14%
海外 +12%

部門別



要因別



セグメント別実績及び予想

LIXILグループの事業利益(率)は前年同期から改善

単位: 億円		17/3期 1Q			18/3期 1Q			前年同期比%	18/3期 上期予想			前年同期比%
		国内	海外	計	国内	海外	計		国内	海外	計	
LWT	売上	715	876	1,592	759	905	1,664	4.5%	1,525	1,850	3,375	6%
	事業利益	46	93	139	66	93	159	14.3%	135	185	320	6%
	%	6.5%	10.6%	8.7%	8.7%	10.3%	9.6%	+0.8P	9%	10%	9%	-0P
LHT	売上	1,301	25	1,325	1,258	39	1,298	-2.1%	2,570	60	2,630	-3%
	事業利益	85	5	89	67	3	69	-22.3%	180	0	180	-8%
	%	6.5%	18.3%	6.7%	5.3%	6.5%	5.3%	-1.4P	7%	-	7%	-0P
LBT	売上	200	389	589	218	391	609	3.4%	510	790	1,300	3%
	事業利益	-19	-14	-33	-2	-3	-4	赤字縮小	10	5	15	黒字化
	%	-	-	-	-	-	-	-	2%	1%	1%	+2P
LKT	売上	240	21	260	258	23	281	7.9%	520	50	570	4%
	事業利益	-2	0	-2	5	0	5	黒字化	20	0	20	150%
	%	-	1.2%	-	2.0%	0.8%	1.9%	-	4%	-	4%	+2P
D&R	売上	440		440	439		439	-0.2%	895		895	3%
	事業利益	24		24	26		26	5.2%	55		55	13%
	%	5.5%		5.5%	5.8%		5.8%	+0.3P	6%		6%	+1P
H&S	売上	150		150	115		115	-23.6%	260		260	-19%
	事業利益	10		10	4		4	-56.6%	10		10	-57%
	%	6.7%		6.7%	3.8%		3.8%	-2.9P	4%		4%	-3P
連結調整・他	売上			-90			-87	-			-130	-
	事業利益			-81			-72	-			-200	-
	%			-			-	-			-	-
LIXILグループ	売上	3,046	1,311	4,266	3,048	1,357	4,319	1.2%	6,280	2,750	8,900	2%
	事業利益	145	84	147	165	94	187	27.1%	410	190	400	0%
	%	4.7%	6.4%	3.5%	5.4%	6.9%	4.3%	+0.9P	7%	7%	4%	-0P

第1四半期 その他収益・費用、金融収益・費用 内訳

単位：億円

科目	17/3期 1Q 実績	18/3期 1Q 実績	増減額	注
貸貸収入	17	16	-1	
固定資産売却益	3	1	-2	
子会社株式売却益	0	1	1	
その他	12	11	0	
その他の収益	32	29	-3	
貸貸原価	11	11	0	
固定資産除売却損	7	5	-2	
その他	16	15	-2	
その他の費用	34	30	-4	
受取利息	5	6	2	
受取配当金	7	7	0	
デリバティブ評価益	118	-	-118	※1
為替差益	-	72	72	※2
金融収益	130	85	-45	
支払利息	28	12	-16	
為替差損	42	-	-42	※1
デリバティブ評価損	-	86	86	※2
金融費用	70	98	28	

(注) 「デリバティブ評価益」は「為替差損」と、「デリバティブ評価損」は「為替差益」と両建てで、表示されています。

17/3期 1Q 実績	
※1 デリバティブ評価益	118
為替差損	42
Net	76 益 ※3

18/3期 1Q 実績	
※2 為替差益	72
デリバティブ評価損	86
Net	-13 損

※3
前期一過性の評価益計上額として以下のものが含まれています。
(1) 外貨建借入金円転時に計上された為替差益 (40億円)
(2) 2016年9月に返済済みの外貨建借入金決算期末為替換算により計上された為替差益 (64億円)
計104億円

LIXIL

23

連結財務状態

単位：億円

■ 資本合計/その他 +563億

内訳	金額
当期利益 ⁽²⁾	+111億円
配当金の支払	-86億円
その他包括利益	+171億円 (為替換算調整勘定 +99億円、他)
ビバ株式売却による変動	+367億円 (うち、連結簿価との差額 +115億円)

為替レート (実績)	17/3期 4Q 実績	18/3期 1Q 実績
米ドル	112.19	112.00
ユーロ	119.79	127.97
タイバーツ	3.26	3.29
中国人民元	16.29	16.49

期末時点相場

	17/3月末	17/6月末	増減額
現金及び現金同等物	1,216	1,204	-12
営業債権及びその他の債権	3,913	3,636	-277
棚卸資産	2,046	2,190	145
非流動資産	11,924	12,239	315
その他の	1,324	1,334	10
資産合計	20,422	20,602	180
営業債務及びその他の債務	3,505	3,340	-165
有利子負債	7,599	7,282	-317
その他の	3,723	3,815	92
負債合計	14,827	14,437	-390
自己株式	-534	-526	7
その他の	6,128	6,691	563
資本合計	5,594	6,165	570
(1) 自己資本比率 (%)	26.8	28.1	+1.3P
(2) 一株当たり純資産 (円)	1,902.18	2,006.52	104.34
期末株式数 (千株)	287,693	288,045	+352

LIXIL

(1) 親会社所有者帰属持分比率
(2) 1株当たり親会社所有者帰属持分
(3) 非支配持分に対する当期利益配分額を含む

24

主要海外子会社業績 (1)

会社名	ASB (ASD Holdings)					
通貨・単位	単位：百万米ドル					
決算期	17/3 1Q 実績	18/3 1Q 実績	前年同期比	17/3 通期 実績	18/3 通期 予想	前期比
為替レート	109.07	111.61	-	109.03	115.00	-
売上高	270	274	1%	1,090	1,149	5%
事業利益	22	17	-22%	76	89	18%
事業利益率	8%	6%	-1.9	7%	8%	+0.8
のれん	142	138	-	138	138	-
無形固定資産	240	234		235		
固定資産・在庫等再評価	-	-		-		

会社名	Grohe Group (グローエ)					
通貨・単位	単位：百万ユーロ					
決算期	17/3 1Q 実績	18/3 1Q 実績	前年同期比	17/3 通期 実績	18/3 通期 予想	前期比
為替レート	122.47	123.14	-	119.37	120.00	-
売上高	364	373	3%	1,391	1,506	8%
事業利益	41	39	-4%	191	218	14%
事業利益率	11%	10%	-0.7	14%	14%	+0.7
のれん	1,206	1,291	-	1,215	1,291	-
無形固定資産	1,550	1,594		1,532		
固定資産・在庫等再評価	75	-		73		

LIXIL

25

主要海外子会社業績 (2)

会社名	Permasteelisa (ペルマスティリーザ)					
通貨・単位	単位：百万ユーロ					
決算期	17/3 1Q 実績	18/3 1Q 実績	前年同期比	17/3 通期 実績	18/3 通期 予想	前期比
為替レート	122.47	123.14	-	119.37	120.00	-
売上高	316	317	0%	1,286	1,391	8%
事業利益	-7	3	-143%	5	24	334%
事業利益率	-	1%	-	0%	2%	+1.3
のれん	158	158	-	158	158	-
無形固定資産	162	146		150		
固定資産・在庫等再評価	-	-		-		

LIXIL

26

国内リフォーム戦略の進捗：リフォーム売上・加盟店ともに伸長

リフォーム商材売上

億円	17/3期 1Q 実績	18/3期 1Q 実績	前年同期比
リフォーム 商材売上	738	755	2%
リフォーム 比率	39%	38%	-1P

- 新築の伸び率が高かったためリフォーム比率は前年同期比-1%

リクシルPATTOリフォーム 対象商品追加例

- リクシルPATTOリフォーム対象商品は、2016年10月のサービス開始時は2商品だったが、2017年7月現在で22商品に
- リクシルPATTOリフォーム対象商品の特徴は、住まう人に負担をかけずにパッと工事が完了

リフォーム加盟店の推移

店	16年 3月	16年 9月	17年 3月	17年 6月
LIXILリフォームショップ (FC)	480	505	519	525
LIXILリフォームネット (ボランティア)	12,492	12,989	13,227	13,237
リクシルPATTOリフォーム サービスショップ	-	(1) 500	3,365	3,513



リフレム リプラス(取替え窓)



戸建て用宅配ボックス
「リンクスボックス」



(1) リクシルPATTOリフォームは2016年10月開始ですが、その時の加盟店数を16年9月に表示しています。

27

(ご参考) 商品・サービス別売上状況

(単位：億円)

セグメント	主要商品名	17/3期 通期実績	17/3期 1Q 実績	18/3期 1Q 実績
LWT	衛生機器	1,023	217	242
	バスルーム	934	220	245
	洗面化粧台	355	77	84
	タイル	291	65	66
LHT	住宅サッシ	1,991	484	482
	エクステリア	1,087	276	274
	リビング建材	604	146	144
	その他LHT	991	250	204
LBT	ビルサッシ ⁽¹⁾	1,096	200	233
LKT	キッチン	1,068	240	259
D&R	ホームセンター売上 ⁽²⁾	1,720	440	439
H&S	住宅・サービス事業	644	150	115
	国内販売子会社等売上	775	183	167
	海外売上	5,285	1,319	1,366
	売上合計	17,864	4,266	4,319

(単位：%)

前年同期比				
17/3期				18/3期
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
-2.1	3.3	7.2	8.5	11.4
-1.2	1.3	2.1	3.0	11.4
0.3	5.1	5.0	7.4	8.9
-1.4	-1.0	0.0	-1.1	1.1
-3.9	-1.0	-4.1	-0.6	-0.3
0.6	-2.8	-4.9	-0.8	-0.5
8.7	2.9	0.7	3.4	-1.3
-5.3	-7.3	-23.2	-20.3	-18.5
-17.0	-3.8	-7.6	5.8	16.2
2.6	2.1	2.4	3.1	8.0
-12.9	-10.3	0.3	-2.7	-0.2
5.0	17.3	9.9	1.0	-23.6
13.8	-23.2	-24.1	-33.6	-9.0
-15.0	-18.7	-12.8	-14.4	3.6
-7.2	-8.0	-6.7	-7.3	1.2



(1) ビルサッシの数値をさかのぼってLIXIL子会社を含めたIFRSの値に置き換え、併せてその他も修正しています。

(2) ホームセンター売上において2015年9月建デモのカーブアウト影響を除いた前年比：17/3期 1Q：3.0%、2Q：7.8%

28

外部評価

MSCI日本株女性活躍指数

MSCI社の「MSCI日本株女性活躍指数(WIN)」の構築銘柄に選定（2017年7月）



「2017 All-Japan Executive Team」ランキング

Institutional Investor誌の「2017 All-Japan Executive Team」のランキングの建設セクターにおいて、「Best CEO」の第1位、「Best CFO」の第2位、「Best IR」の第3位、「Best IR website」の第2位に選出（2017年5月）



この資料には、(株)LIXILグループの将来についての計画と予測の記述が含まれています。これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績は様々な重要な要素により当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。

報道関係各位

2018年8月7日

2018年3月期 第1四半期決算（IFRS） 全社のシナジー効果とLWT事業のけん引により、増収増益

株式会社 LIXIL グループ（本社：東京都千代田区、社長：瀬戸欣哉、以下 LIXIL グループ）は本日、2018年3月期第1四半期の決算^{※1}を発表しました。

売上収益は、前年度の事業売却や国内子会社の非連結化の影響にもかかわらず、LIXIL Water Technology（LWT）事業の力強い実質的な成長と、その他事業の売上も好調に推移したことから、前年同期比 1.2%増の 4,319 億円となりました。

事業利益^{※2}は、前年同期比 27.1%増となる 187 億円に拡大しました。マーケティング効果による国内売上の増加に加え、全社的なコスト削減シナジーが寄与し、増益を達成しました。

当期利益^{※3}は前年同期より 14 億円減少し、102 億円となりました。これは、主として、前年同期における一過性の為替差益が剥落したことによるものです。

※1 国際会計基準（IFRS）に基づく。

※2 IFRS の事業利益は、日本会計基準（JGAAP）の営業利益に相当。

※3 親会社の所有者に帰属する当期利益。

部門別の業績

LIXIL Water Technology（LWT） は LIXIL、INAX、GROHE、American Standard などのグローバルブランドを展開しており、2018年3月期第1四半期の売上収益は、前年同期比 5%増の 1,664 億円、事業利益は同 14%増の 159 億円と増収増益となり、事業利益率は 10%でした。特に日本では、清掃性を高めた衛生陶器の新素材「アクアセラミック」を搭載したシャワートイレの拡販や、積極的なマーケティング投資が奏功し、国内売上が増加しました。加えて、中国でも売上が大幅に伸びるなど、海外事業も好調なスタートを切りました。

LIXIL Housing Technology（LHT） の売上収益は、前年度上期に実施したハイビック株式会社の売却の影響を受け、前年同期比 2%減の 1,298 億円でしたが、事業売却の影響を除く実質ベースでは前年同期比 2%増となりました。事業利益は、事業売却の影響に加え、グループ全体の戦略コスト配賦方法の変更による販管費増加が LWT および LHT の事業利益の押し下げ要因となり、前年同期比 22%減の 69 億円となりました。

LIXIL Building Technology（LBT） は Permasteelisa Group を含んでおり、売上収益は国内外で増収となり、前年同期比 3%増の 609 億円でした。事業損失は 4 億円を計上しましたが、選別受注の徹底により収益性の改善を図り、前年同期の 33 億円から赤字幅を大幅に圧縮しました。

LIXIL Kitchen Technology（LKT） の売上収益は、前年同期比 8%増の 281 億円となり、事業利益は日本事業におけるコスト改善により、5 億円と黒字化しました。特に日本市場では、主力商品のシステムキッチン「リシェル」および「アレスタ」シリーズ、賃貸アパート向けのコンパクトキッチンの売上が好調で、増収に寄与しました。

流通・小売り事業の売上高は、前年同期とほぼ同水準の 439 億円になりました。仕入改善や既存店の経費削減等により、事業利益は 5%増の 26 億円でした。**住宅・サービス事業等**は、前年度末の株式会社日本住宅保証検査機構（JIO）の非連結化の影響を受け、売上高が 24%減の 115 億円、事業利益は 57%減の 4 億円となりました。

LIXIL グループ社長兼 CEO 瀬戸欣哉のコメント

「LIXIL グループは、経営効率の向上やシナジー追求、エンドユーザー向けアプローチを強化するための施策を前年度から推進し、着実な成果を挙げています。これらの取り組みは短期的な業績向上だけでなく、持続的成長を実現するための競争力強化にもつながります。第1四半期は好調なスタートとなりましたが、今年度中に新中期経営戦略の発表を予定しており、引き続き経営基盤の強化に努めてまいります」

■ LIXIL、LIXIL グループについて

LIXIL について

株式会社 LIXIL は、戸建住宅・マンションからオフィス・商業施設などの非住宅向けに、多岐にわたる建材・設備機器および幅広い住関連サービスを提供するグローバル企業です。LIXIL、INAX、GROHE、American Standard、Permasteelisa をはじめとする業界をリードする数々のブランドを有し、水まわり製品から内外装建材をはじめとする先進的な製品・サービスの提供を通じて、世界中の人びとのより豊かで快適な住まいと暮らしの実現に貢献しています。現在、世界 150 カ国以上で事業を展開し、70,000 人超の従業員を擁しています。

LIXIL ウェブサイト：<http://www.lixil.co.jp/>

LIXIL グループについて

株式会社 LIXIL グループ（証券コード：5938）は、中核事業会社である株式会社 LIXIL をはじめ、株式会社 LIXIL ビバ、株式会社 LIXIL 住宅研究所などを傘下に持つ持株会社で、東京証券取引所および名古屋証券取引所に上場しています。多岐にわたる建材・設備機器の製造、販売に加え、ホームセンター事業や住宅フランチャイズチェーンの運営、不動産サービスなど、幅広い住関連サービスを展開しています。2017 年 3 月期の連結売上高は 1 兆 7,864 億円※です。

LIXIL グループウェブサイト：<http://www.lixil.com/jp/>

※国際会計基準（IFRS）ベース